

OFA GK育成プロジェクト 活動レポート

2019年12月
一般社団法人大阪府サッカー協会



OFA GKアカデミー

文責：時久 省吾 (OFA GKアカデミーGKコーチ)

12月も前回と同様にパス&サポートをテーマにトレーニングに取り組みました。アカデミーでは継続的にキックの精度を上げる事を重点的に取り組み、ボールを味方からどのように引き出すかといったポジショニングも意識しました。近年のGKはビルドアップもFPと同様にに関わる事が必須なので味方にコーチングしながら積極的にバックパスを受けられるかどうかを見極めていかなければなりません。どの足でボールをもらうのかスムーズな味方との連携が求められてきます。また、体の向きや目線で相手と駆け引きをしてボールを配球することもテクニックとして習得する必要があります。もちろんビルドアップにはチーム戦術が大きな影響を受けるので味方の立ち位置や能力によってやり方は変わっていきます。アカデミーの取り組みとしてまずは左右の足で正確に飛距離のあるボールを蹴れるという事が理想になっていきます。その中で遠くを意識しながら状況の中で近くの選手を使うのか、ミドルレンジのパスを選択するのかGKが判断していけるように取り組んでいければと思います。



OFA GKスクール

文責：櫛引 実 (JFAアカデミー堺GKコーチ)

今月はU-12、U-15ともに2回でした。U-12は12月9日(月)にレッスン6(フロントダイブ)、16日(月)にレッスン8(ディストリビューション)を行いました。U-15は12月2日(月)にレッスン10a(クロスに対応:カットバック)、23日(月)にクロスに対応まとめを行いました。U-12のフロントダイブは、2度目のレッスンでテクニックだけでなく、より実践に近づけ、スルーパスからの1vs1の対応をメインに行いました。スタートポジション、構え方、DFとの連携、出る出ないのジャッジを求めました。2度目なので、テクニック的には殆どのスクール生が出来ていましたが、相手、味方が入ると迷いやエラーが多く出ました。その分ゲームではスムーズに入れて良い準備、判断から良いプレーが多くありました。DFのカバーもあり良いレッスンになりました。16日(月)のディストリビューションも2度目で、攻撃参加という事でレッスンをしました。スローイングを含めたパスのテクニックに時間をかけて行いましたが、非利き足でのスローやキックは課題でした。最後のゲームでもFPの関りや動き出しのタイミング、優先順位を指導しました。サッカー理解を深める良いレッスンになりましたが、テクニックやいつどこを観るのかは習慣化する必要があります。U-15は2日ともクロスに対応を行いました。クロスに対応を全4回行いましたが、ポジショニング(身体の向き、構え方)、いつ観るか、コーチング、DFとの連携、出る出ないか、キャッチが弾くかのジャッジ、ジャンプキャッチのテクニックとジャンプの高さ、プレーエリア、パンチングの飛距離と場所、キャッチした後のプレー、カットバック時のポジショニングなど、やることも多く難しいレッスンです。その為に4回に分けて行ってきました。回数を重ねたので随分良くなり、チャレンジもできるようになりました。所属チームでも継続して欲しいものです。



協賛

ユニバーサル株式会社、ユアサM&B株式会社

お問い合わせ先

一般社団法人大阪府サッカー協会

〒550-0004 大阪市西区鞠本町1-7-25 イトーダイ鞠本町ビル6階

TEL : 06-6441-5881 (平日10:00~18:00) FAX : 06-6441-5882 <http://osaka-fa.or.jp>